

# ダイヤモンド就活ナビ2024

## 4月活動調査



### トピックス

1

#### 就職活動進捗状況

就職活動は前倒しで進行。内定を獲得した学生は50.0%に。プレエントリー数は平均27.3社と減少する中、内定獲得社数は平均2.1社と増加。内定をもらった企業のうち、入社を決めた(内定を承諾した)企業がある学生は過半数。

2

#### 選考参加のきっかけ

エントリーは「志望度の高い企業のみ」が増加。個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは、「インターンシップ類に参加した」(58.3%)がトップに。本選考を受けた企業、内定先にインターンシップ類参加企業がある学生は7割超。

3

#### 内定の状況

「就職先を決定し、活動を終了している」学生は16.9%。「内定(内々定)しているが、納得いくまで活動する」学生は44.2%。現在の悩み・不安は「内定を得たので、活動を終了するか迷っている」が増加し、22.5%に。

4

#### 就活観

就職環境を「大いに樂觀」「比較的樂觀」する学生は4割超。入社したい企業は「大手を優先」「できるだけ大手企業」が54.4%と過半数に。社会人への不安は多くの項目で減少する中「希望する部署に配属されるか」が増加。

### 【調査概要】

■ 調査対象 / 2024年3月卒業予定の大学院生・大学生

■ 有効回答 / 471名

■ 調査期間 / 2023年4月6日(木)~2023年4月17日(月)

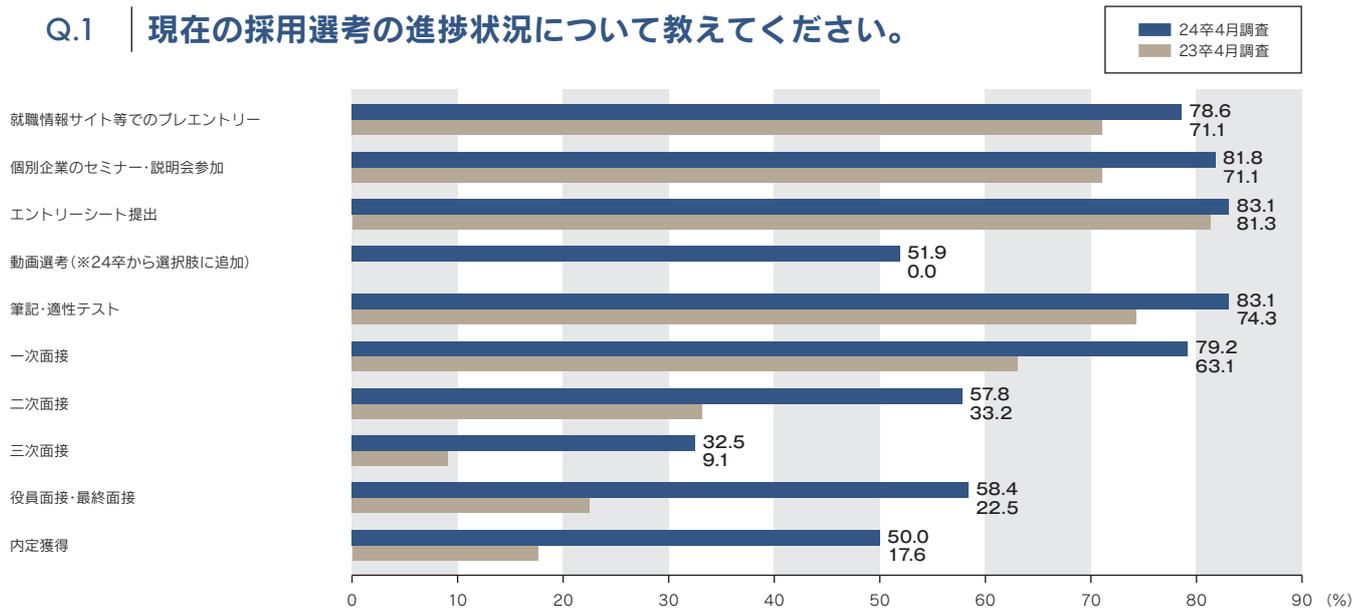
■ 調査方法 / Web入力フォームより回答

#### ■ モニターレポート 4月調査内訳

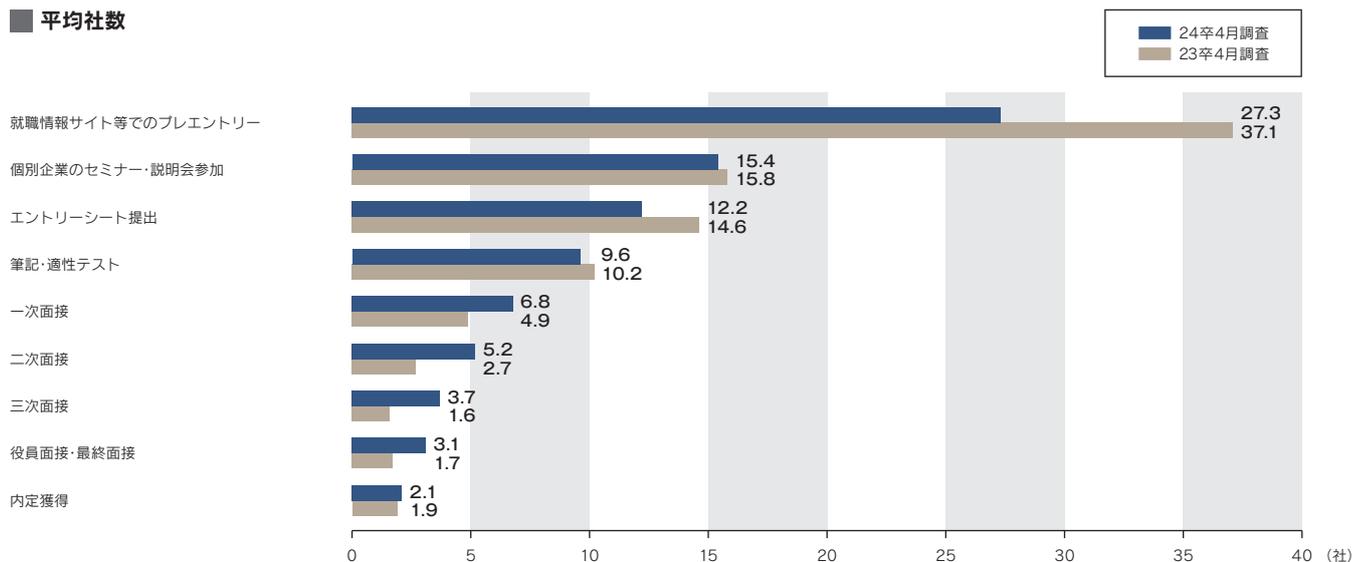
文理	文系:75.8% 理系:24.2%
エリア	北海道エリア:2.5% 東北エリア:1.9% 関東エリア:65.6% 甲信越エリア:0.6% 東海・北陸エリア:2.5% 関西エリア:16.6% 中国・四国エリア:8.9% 九州・沖縄エリア:1.3%
回答の多かった大学	日本大学 早稲田大学 慶應義塾大学 青山学院大学 駒澤大学 中央大学 専修大学 日本女子大学 法政大学 上智大学 京都大学 岡山大学 神戸大学 東京理科大学 千葉大学 関西大学 横浜国立大学

# 1 就職活動進捗状況

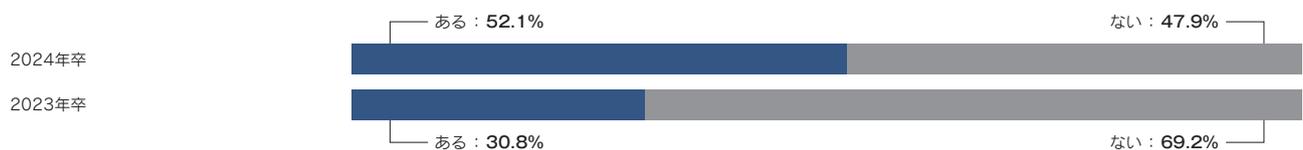
## Q.1 現在の採用選考の進捗状況について教えてください。



## 平均社数



## Q.2 内定獲得企業のうち、入社を決めた(内定を承諾した)企業はありますか？



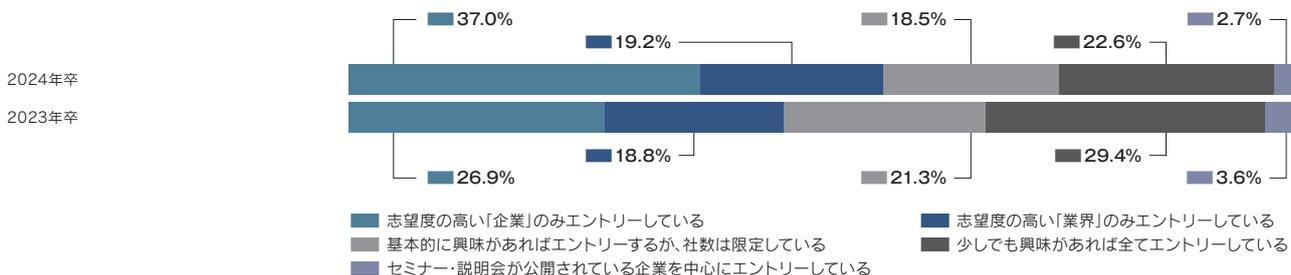
### comment

就職活動の進捗は「エントリーシート提出」「筆記・適性テスト」が83.1%で最も多く、1次面接以降に進んでいる学生は前年同時期からいずれも大幅に増加した。内定を獲得した学生は50.0%と前倒しで進行している。

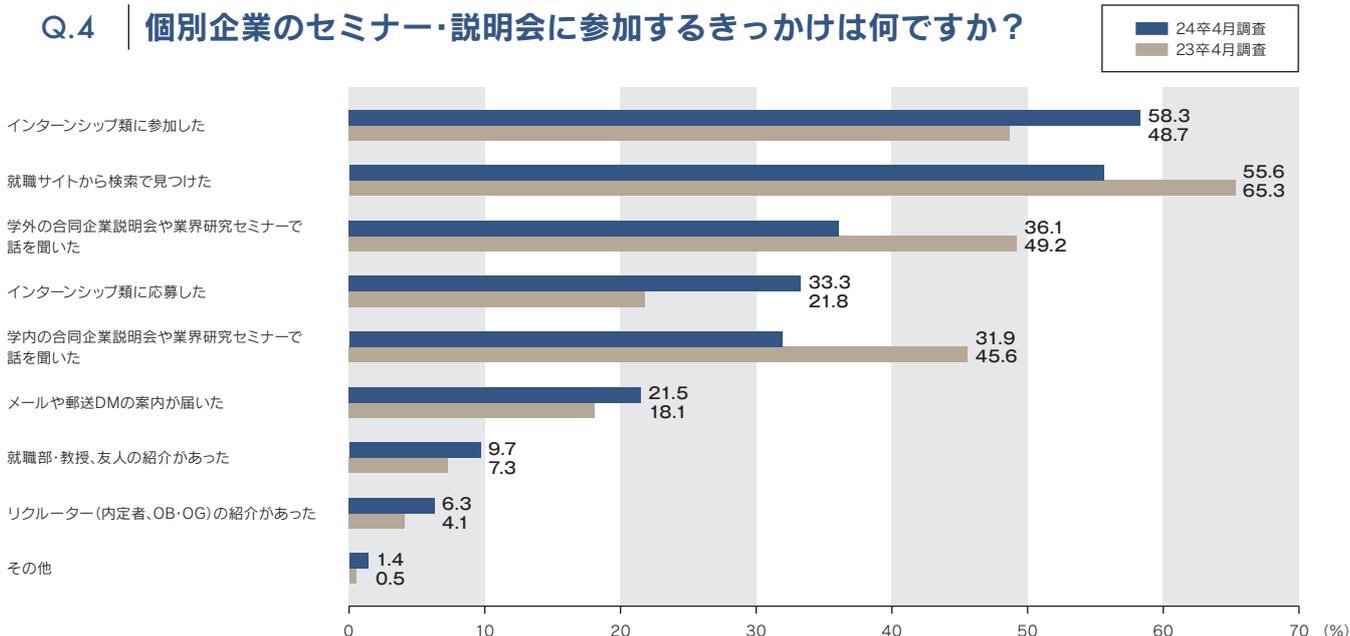
同時期のプレエントリー数は23卒37.1社→24卒27.3社と減少する中で、内定獲得社数は23卒1.9社→24卒2.1社と増加しており、学生優位の環境がうかがえる。内定獲得した企業のうち、入社を決めた(内定を承諾した)企業がある学生も23卒30.8%→24卒52.1%と増加し過半数となった。

## 2 選考参加のきっかけ

### Q.3 企業にエントリーする際の基準を教えてください。



### Q.4 個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？



### Q.5 本選考(ES提出以降が該当)を受けた企業のうち、インターンシップ類に参加した企業はありますか？



### Q.6 内定獲得した企業のうち、インターンシップ類に参加した企業はありますか？

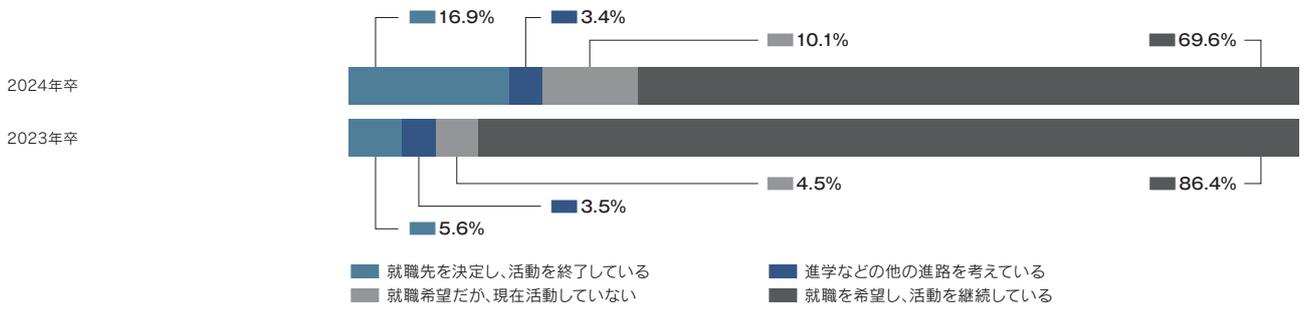


#### comment

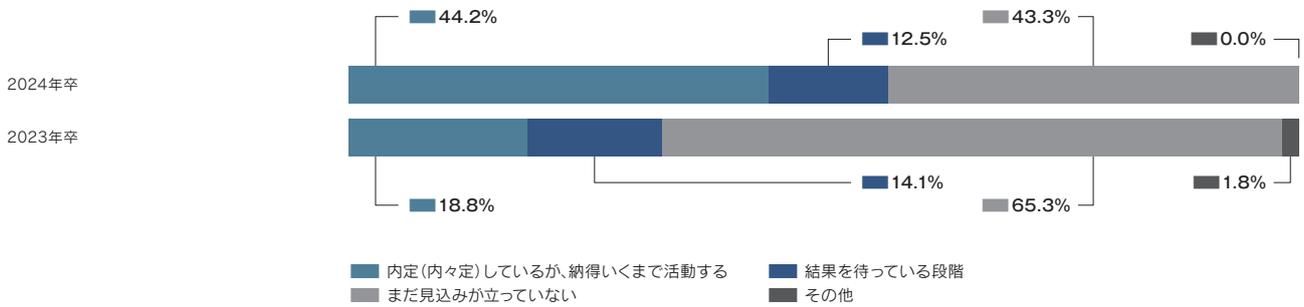
企業にエントリーする際の基準は「志望度の高い企業のみ」が23卒26.9%→24卒37.0%と大幅に増加し、「志望度の高い業界のみ」(19.2%)と併せて過半数の学生がエントリー先を絞り込んでいる。個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは、「就職サイトから見つけた」(55.6%)、「学外の合同説明会」(36.1%)を「インターンシップ類に参加した」(58.3%)が上回りトップに。「本選考を受けた企業にインターンシップ類参加企業がある」学生は74.1%、「内定先にインターンシップ類参加企業がある」学生は71.8%と、学生が選考に参加する企業を選択する際にインターンシップ類が重要なファクターとなっている様子がうかがえる。

### 3 内定の状況

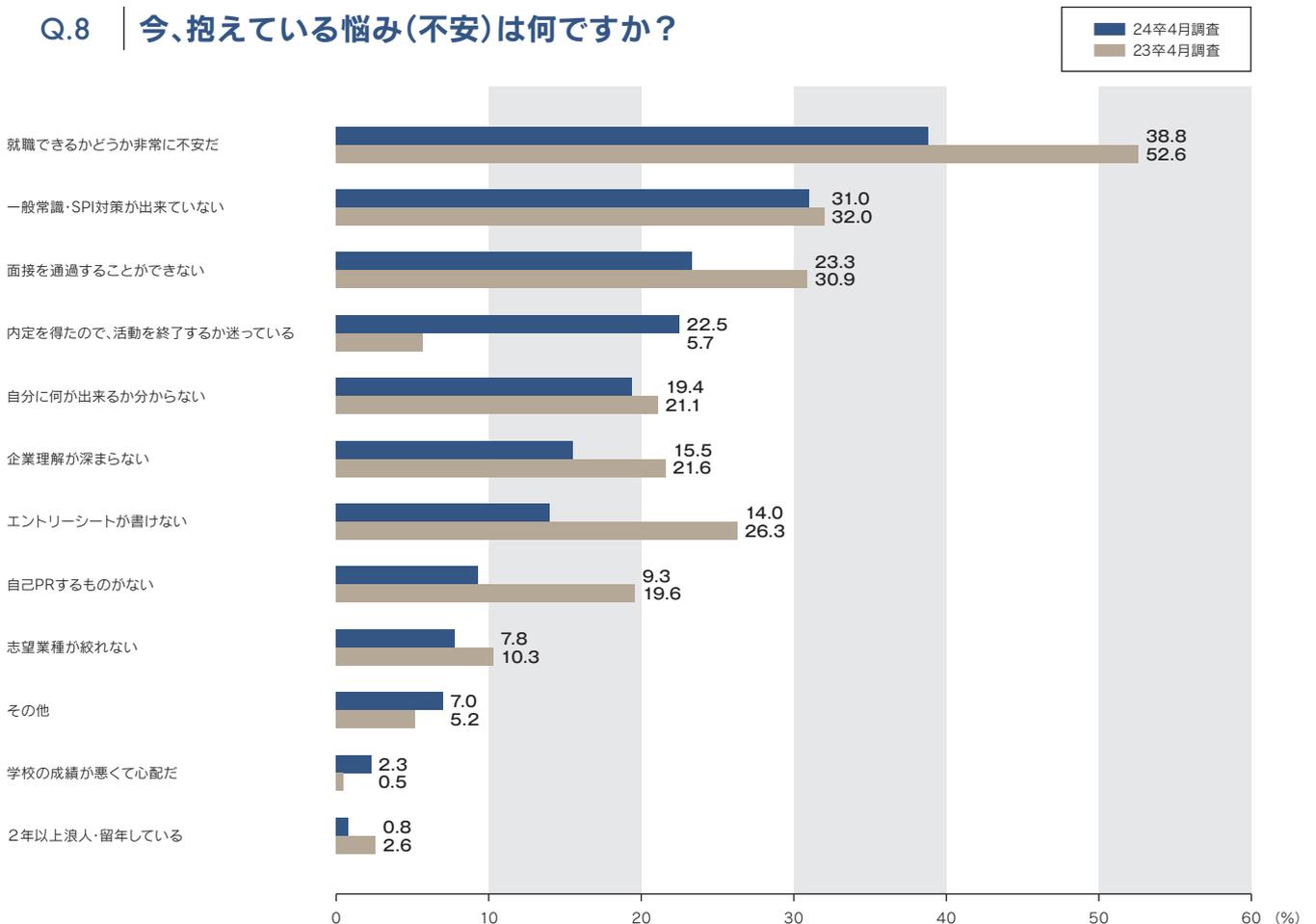
Q.7 | 現在の就活状況について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。



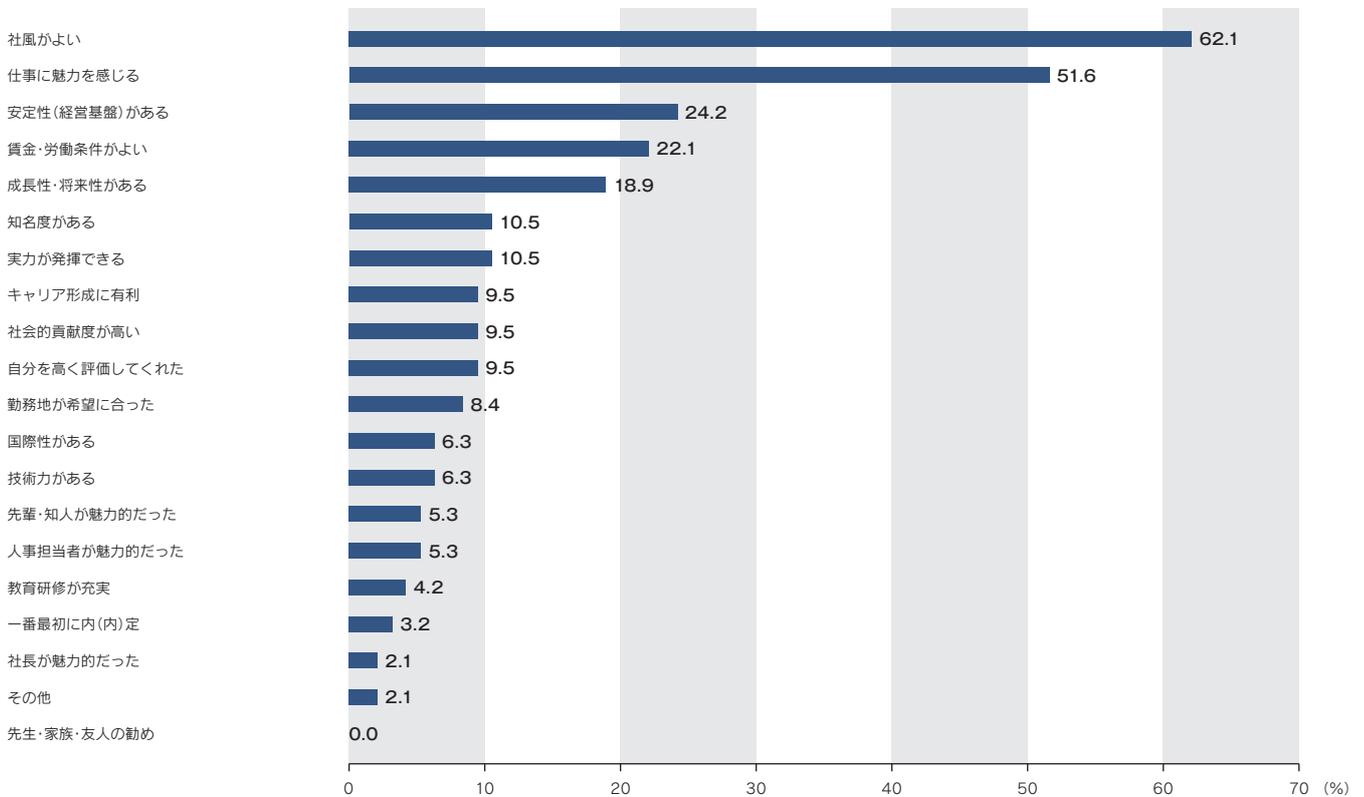
■ (Q.7で「活動を継続している」と回答した人にお聞きします)  
現在の状況について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。



Q.8 | 今、抱えている悩み(不安)は何ですか？



## Q.9 | 入社を決めた理由を、順位の高いものから3つお選びください。



## Q.10 | 内定の決め手になった出来事や選択の基準があればお答えください。

- リクレーターの方が親身になって面接前後にエールを送って下さった。とても親切で率直かつ誠実な人柄の方が多く、そうした環境で働きたいと感じた。
- 自分が注目している業界や分野を扱っていたことと、周りの人もそれを後押ししてくれたから。
- 選考に進む時点で自分の中の最低条件をクリアしていたが、まだ不安があったため内定後に社員の方々との面談を設定していただき、不安が解消されたから。
- インターンシップ参加会社だから。人事の方の対応もよく、社風がっていると感じた。
- 待遇(給与)、社風、将来の可能性。キャリアプランを考えたときどこに入ると一番良いか考えた結果。
- 社員の雰囲気や企業の知名度・安定度。給与は同業界と比べそこまでかもしれないが、ワークライフバランスはとても良い。
- 業界、職種、労働条件が自分の軸や希望と一致していた。職種採用だったのがありがたかった。
- 社風・友人の話・年収。長く働ける会社だと思ったから。

### comment

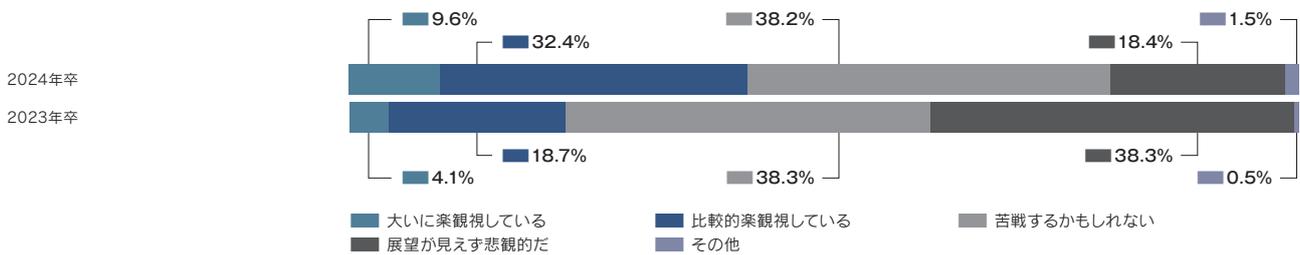
「就職を希望し、活動を継続している」学生が69.6%と大多数となった。一方で、「就職先を決定し、活動を終了」した学生は23卒5.9%→24卒16.9%と大幅に増加した。採用選考が前倒しで進んだことに伴って、就活を継続している学生のうち「内定(内々定)しているが、納得いくまで活動する」学生は23卒18.8%→24卒44.2%と大幅に増加。内定を保持しながら就活継続している学生は半数に迫る。

悩み・不安は「就職できるかどうか非常に不安だ」が23卒52.6%→24卒38.8%と大幅に減少した一方で「内定を得たので、活動を終了するか迷っている」が23卒5.7%→24卒22.5%と増加した。

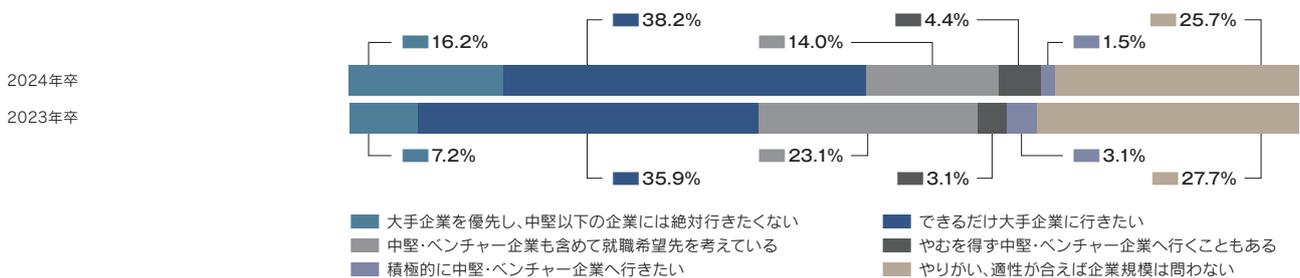
入社を決めた(内定を承諾した)理由は「社風がよい」(62.1%)「仕事に魅力を感じる」(51.6%)「安定性(経営基盤)がある」(24.2%)となった。承諾の決め手では例年以上に「賃金・労働条件がよい」(22.1%)に関するコメントが目立つ。

## 4 就活観

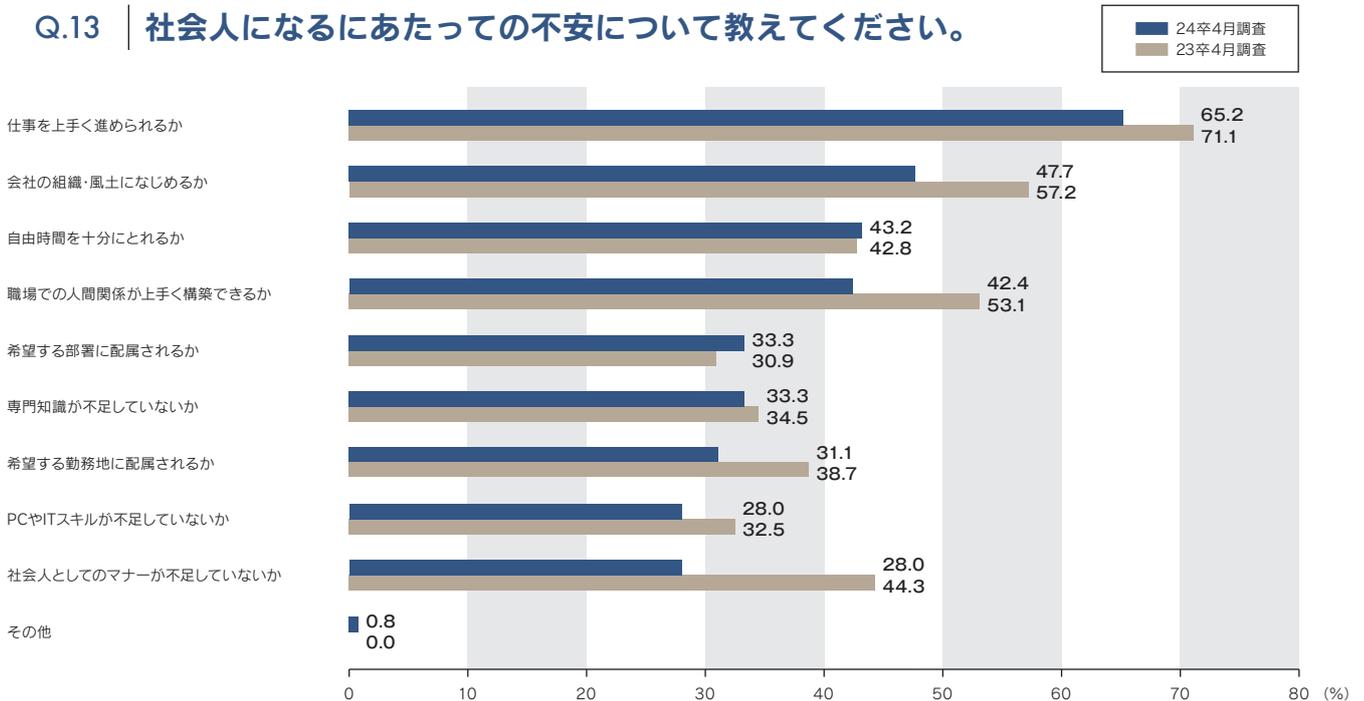
### Q.11 就職活動の環境について、どのような感想をお持ちですか？



### Q.12 どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものを教えてください。



### Q.13 社会人になるにあたっての不安について教えてください。



#### comment

就職環境を「大いに楽観視している」学生は23卒4.1%→24卒9.6%、「比較的楽観視している」学生は23卒18.7%→24卒32.4%と楽観視する学生が増加した。

入社したい企業は「大手を優先し、中堅以下の企業には絶対行きたくない」が23卒7.2%→24卒16.2%、「できるだけ大手企業に行きたい」が23卒35.9%→24卒38.2%と大手志向が過半数となり、学生優位の環境がうかがえる。

社会人になるにあたっての不安は、多くの項目で減少する中「希望する部署に配属されるか」が増加した。